

あなたがたの間で偉くなりたいたいと思う者は、皆に仕える者になりなさい。

あなたがたの間で先頭に立ちたいと思う者は、皆のしもべになりなさい。

人の子が、仕えられるためではなく仕えるために、また多くの人のための贖いの代価として、自分のいのちを与えるために来たのと、同じようにしなさい。

#### マタイの福音書 20章26〜28節

イエス様は十字架の予告をし（19）、ご自身が世に来たのは、罪人を救うために世に仕えるためであると語りました。そして、仕えることを弟子たちにもお求めになりました（26〜28）。

私たちキリスト者に求められているのはイエス様に倣って神と人と世に仕えることです。そういう意味で教会とは「仕える共同体」という性格があります。キリスト者は教会から世に遣わされて世にあってキリスト

を証しします。私たちが世に仕える姿を通して人々はキリストを見るのです。ですから私たちは仕える者へ成長し、教会の内でも外でも仕える者として生きることが求められます。

仕えるとは祭司的な働きです。祭司は神の前に仕え、神と人との仲介者の役割を担いました。大祭司はイエス様です。私たちのためにご自身をささげて罪を贖ってくださいました。その救いを受けた私たちは生活

を通してイエス様を指し示すのです。

ただ、これには聖霊の助けが必要です。聖霊に満たされる前の弟子たちは人の上に立つ支配者になることを望みました（21）。人は聖霊の助けなしにはイエス様の御心が分からないのです（22）。だからこそ聖霊の助けによつて霊の目が開かれてイエス様を見て、イエス様の生き方に倣えるように求める必要があります。そのためには自分と向き合い、自分が見えているのかどうかを自覚しなければなりません。

二人の盲人は目が開かれることを切に願つてイエス様に頼りました。イエス様は彼らの願いに応えて目を開き、彼らは「イエスについて行く」く人生に導かれました（34）。

## 【報告 消息】

### ・成人の祝い

今回は対象者が11名と、例年になく大勢の兄妹を覚えて祝福を祈れたことを感謝します。教会員の子弟やその友人、ミッションスクールを通して導かれた方など、この20年にそれぞれのストーリーがあり教会に導かれたことを思い感謝です。このうち4名はすでに受洗しています。それぞれが主の栄光を現わす道を歩めるようにお祈りください。また、残る7名も信仰告白に至るようにお祈りください。

遠方の方、お仕事の方もあり、当日は8名が出席。ブラッと並ぶ様子は壮観でした。これからも教会と繋がり主の導きの中を歩めるようにもお祈りください。掲示板に当日の写真を貼っています。

・昨日と今日は大学入試共通テストが行われています。受験生のためにお祈りください。

・有志ボランティアによる無料食品配布の第2回目を実施よていす。たたいま食品の提供を募集しています。志のある方はご協力ください。

### ・新年聖会 報告

2022年最初の教団の連合集会として、10日の午前と午後に行いました。講師の小野寺先生は教団標語「アドナイ・イルエ 主の山には備えがある」を踏まえて恵み深い説教を取り次いでくださり、大いに励まされました。新型コロナウイルスの感染が再び拡大し一堂に会することはできませんでしたが、各シオンまたそれぞれの場所で共に恵みにあずかれたことを感謝します。教会ホームページから視聴できるのでご覧ください。

\*聖会Ⅰ エペソ2章1〜10節

「神の民の備え」

出席者数 蒲田礼拝堂 19名

教団合計 33名

席上献金 教団合計 50,300円

\*聖会Ⅱ マルコ14章1〜9節

「神への最善の備え」

出席者数 蒲田礼拝堂 16名

教団合計 22名

席上献金 教団合計 30,205円

小野寺先生からハガキをいただきました。掲示板にあります。

